

## 令和4年度 第4回三田市環境審議会 議事概要

会議の名称	令和4年度 第4回三田市環境審議会		
会議の日時	令和4年12月13日(火) 17:30~19:00		
会議の場所	三田市役所 本庁舎 3階 302A 会議室		
出席した委員の氏名	佐藤 裕司委員、石田 弘明委員、岸本 和史委員、森 里美委員、 荒木 辰哉委員、山田 敏雄委員、佐山 浩委員		
出席した庶務職員の職 及び氏名	事務局	まちの再生部	久高部長
		ゼロカーボンシティ推進室	辻下室長
		環境創造課	赤井課長、辰巳係長、寺寫主任
傍聴者の人数	1名		
取材者の人数	0名		
議題	1. 開 会 2. 挨 拶 3. 議 事 ① 三田市環境基本計画の改定について 4. その他 5. 閉 会		
会議の概要	・三田市環境基本計画(素案)について、説明を行い、それに対する質疑を行った。		
公開・非公開の区分	公開		
使用した資料の名称	▶ 次第 ▶ 第4次三田市環境基本計画(素案)		
連絡先			

## ■議事：

三田市環境審議会規則第 2 条第 2 項の規定により、佐藤会長が進行。

### ① 三田市環境基本計画の改定について

(事務局) 【資料】第4次三田市環境基本計画(素案)について説明を行った。

(委員) 37 ページより計画の取り組み内容について記載がされているが、事前の解説もなく SDGs のマークが登場している。分かりやすくするために、33 ページに事前の説明ページを設けるべきだ。

(事務局) 検討し、改めて示す。

(委員) クリーンインフラについては自然分野に記載がみられるが、62 ページの景観形成にも関連性がみられるため記載した方がよいと思われる。

(事務局) 検討し、改めて示す。

(委員) 重点施策のタイトルには、「ローカル SDGs」または「ダイバーシティマネジメント」といった言葉が使われているが、事前に説明がないため、ピンとこない可能性がある。タイトルの主旨がわかるような工夫が必要なのではないか。

(会長) 「ローカル SDGs」よりも、「さんだ SDGs」と言い換えてもいいと感じる。

(委員) 私も「さんだ SDGs 推進プロジェクト」または「SDGs 推進プロジェクト」が良いと思う。また、「ダイバーシティマネジメント」というタイトルは取り組みの主旨が分かりにくいと感じている。

(事務局) 「ダイバーシティマネジメントプロジェクト」の主旨としては、多様性を認め合い、マナー・モラルを向上させるという内容である。多様性＝ダイバーシティを前面に押し出している。

(委員) 多様性の強調も重要ではあるが、タイトルによる主旨の説明が困難である。多様性とは別に、「共創」や「快適な住環境」といったキーワードも使用を検討するといふように思う。

(事務局) 検討し、改めて示す。

(委員) 64 ページの重点プロジェクトの星取表だが、基本方針との関連性がわかりにくい。また、この星取表自体の必要性があまり感じられないが、どうだろうか。

(事務局) 分かりやすい表現も含めて点検し、改めて示す。

- (委員) 16 ページにおいて、環境学習について関心が低いと記載があるが、他の選択肢と比較して数値が低いことについて、単に関心が低いと言い切ってよいか疑問である。それよりも、前向きな書き方に変えた方がいいと思う。
- (事務局) 表現を検討し、改めて示す。
- (委員) 42 ページで、OECM と自然共生サイトは同じ意味の言葉なので、統一されていないため統一した方がいいと思う。
- (事務局) 検討し、改めて示す。
- (委員) 65 ページのナッジ理論について、分かりやすい説明をお願いする。
- (事務局) 検討し、改めて示す。
- (委員) 参加、協働、共創の使い分け方は、どうなっているのか。
- (事務局) 参加とは行政または事業者が作成したセミナーに市民が参加してもらうことを指し、協働とは問題解決に向けて共に取り組んでいくことを指し、共創とは課題の解決方法または課題そのものを共に見出すことを指している。
- (委員) 64～65 ページの「参加・協働・共創」の順序が異なっている。
- (事務局) 正しい表記は「参加・協働・共創」の順序である。点検し、改めて示す。
- (委員) 水質汚濁防止に関連する施策(44 ページ)だが、これは市民または事業者どちらを対象として考えているのか。水質検査の基準についても、教えてほしい。
- (事務局) 啓発活動は市民向けで、事業者に関しては基準値を遵守することが義務のため、守ってもらえるように指導を行っていく予定である。水質検査の基準については、数値一つひとつの説明は省略させていただくが、三田市では水質汚濁防止法に加えて、兵庫県の基準も上乘せして検査している。
- (委員) 2 ページ付近の破線について、この破線は次期策定計画という意味だと思うが、破線になっている理由の解説を入れるべきではないか。
- (事務局) 他計画の進捗状況を確認しつつ、改めて示す。
- (委員) 5 ページの「Act」→「Action」にすべきではないか。
- (事務局) 検討し、改めて示す。

(会 長) 多くの市民が見ることになる概要版については分かりやすく、作っていただきたい。36 ページの見開き等は必要になると思う。他に意見なければ、ここで議論は終了とさせていただく。

#### ④その他

(事務局) 環境審議会の進捗と今後の予定について説明

(事務局) 環境基本計画の改定に関する最終審議は本日をもって終了とする。修正された計画の内容の確認および了承は会長に一任としたい。

(委 員) 了承した。

(事務局) また、その他意見や修正検討事項があれば、事務局に今週中にご連絡いただきたい。

#### ■閉会

議事録については、後日、配布する。また、本計画のパブリックコメントは1月4日より開始予定である。1/21には「さんだゼロカーボンシティフォーラム」を開催予定である。